

子どもの こんなことありませんか？

言葉のおくれがある

コミュニケーションが苦手

人との関係づくりが苦手

パターン化した行動をとる

興味・関心にかたよりがある

言葉の発達のわりには不器用など…

ひよつとしたら「発達障がい」かもしれない

だから、多くの人に知ってほしい

発達障がいのこと

得意・苦手なこと

発達障がいの子どもは、能力の発達の仕方がアンバランスな場合があります。苦手なこともありませんが、得意なこともたくさんあります。自信をなくさないように、良いところを伸ばすようにすることが大切です。周りがその子どもにあった対応をすることで、安心して生活を送れるようにしましょう。

■得意なこと

例えば…
・記憶力がいい子どもは、答えのはっきりしている暗記や計算など。

・一つのことには、とても集中することができる子どもは、大人顔負けの難しいことを知っていることもある。

で、出来ることや得意なことを尊重しましょう。

■苦手なこと

例えば…
・急に予定が変わったり、初めての場所に行ったりすると…
↓不安になることがある。

・友だちと興味を共有することが苦手な子どもは…

↓一方的に自分の話を続けることがある。

※苦手なことでも、接し方を工夫するとトラブルを最小限にできます。

早い時期から対応することが大切

いろいろな能力を獲得する、乳幼児の時期から対応することで、発達のおすすみによる支障を軽くすることが大切です。

子どもたちとの関わり方



『楽しい子育てのヒント集』
埼玉県福祉部福祉政策課発行

発達障がいがあるといっても、特徴の現れ方や困難なこと、そして苦手なことが一人ひとり違います。一人ひとりの特徴に応じて配慮したり、支援したりしていくことが重要です。

5つの方法

- ① できたことをほめて、できないことは叱らないようにしましょう。
- ② いけないことや人に迷惑をかけるようなことは、具体的に話して教えてあげましょう。
- ③ 絵や図を使って説明してあげましょう。
- ④ 具体的な説明や指示を、順を追って短くしてあげましょう。まわりの理解が必要で、温かい目で見てあげましょう。
- ⑤ 人混みや大きな音、光などの不快な刺激を減らしてあげましょう。

通級指導教室 発達障がいに関する情報



《町の通級指導教室》

子どもの特性を正しく理解しましょう。たくさんの可能性を伸ばすために、ひとりで悩まないでください。

☎ 学校教育課指導係 ☎ 523

《発達障がいの情報》

政府広報オンライン「発達障がいて、何だろう？」

🌐 <http://www.gov-online.go.jp/featured/201104/contents/sodan.html>

発達障がい・情緒障がいのある 児童のための通級指導教室



全体の約6%が
発達障がい

・名前を呼んでも振り返らない。
・言葉は出るが、コミュニケーションに繋がらない。
・気に入ったものを集めるのが好きで、執着が激しい。
・突然の変化に混乱してしまう。
子どもたちの中には、生まれもった特性が原因で、こうした反応を強く示すことがあります。これを「発達障がい」といいます。

平成14年に行われた文部科学省の全国調査の結果、このような発達障がいのある子どもたちは、全体の約6%いるといわれています。

例えば…
■ 広汎性発達障がい
コミュニケーションが苦手
人との関係づくりが苦手
パターン化した行動をとる
■ 注意欠陥多動性障がい (ADHD)
集中することが苦手
じっとしていることが苦手
考える前に行動してしまふ

■ 学習障がい (LD)
「読む」「書く」「計算する」等の能力のうち、特定のものの習得と活用に著しい困難を示す。

どんな子どもたちが 入れるの？

現在、通常学級に通い発達障がいや情緒障がい等のため、学習に支障をきたしていたり、集団生活がうまくいかなかったりする児童が対象です。

ただし、入級は町の就学支援委員会の判断が必要で、希望する全ての児童が入級できるわけではありません。



通級指導教室とは？

普段は通常学級に通いながら特定の時間に、一人ひとりの児童の教育的ニーズに応じた指導・支援を行います。

通級指導教室に通う児童は、各教科の指導を、主として通常学級で受け、個々に支援が必要とされる学習や社会生活、体験について学びます。



町で初めて開設

昨年度、竹間沢小学校に発達障がい・情緒障がいの児童のための通級指導教室が開設されました。現在7人が通級をしています。

出来ること、得意なことを伸ばし、自信を持って生活し、笑顔の輝きを増やすための教育を行っています。

